



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2025/12/16

研究課題名	子宮頸癌に対する同時化学放射線療法（CCRT）前の腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検の治療成績
研究の対象	2025年12月1日～2030年3月末日までに、当院で進行子宮頸癌 IIIC1r期およびIVA期のため、同時化学放射線療法前に腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清を行なった方
研究目的・方法	<p>子宮頸癌において、リンパ節転移は予後規定因子である。IB3期以上の局所進行子宮頸癌に対し、主治療として同時化学放射線療法（CCRT）が選択肢となるが、リンパ節転移の制御のため、適切な照射範囲の設定が重要です。CCRTでは一般的に骨盤部の照射を行うが、傍大動脈リンパ節転移陽性例では、照射野を傍大動脈リンパ節領域まで拡大することの有用性が報告されています[J Clin Oncol 2013;31:3026–3033]。子宮頸癌ガイドライン2022において「リンパ節転移が疑わしいが画像診断で確定できない場合は、主治療前に骨盤・膨大動脈リンパ節生検を行うことを提案する（推奨度2、エビデンスレベルC）」と記載されており、当施設では、画像上骨盤リンパ節転移を認める子宮頸癌 IIIC1r期およびIVA期に対する同時化学放射線療法（CCRT）施行前に、腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検を施行し、切除したリンパ節への転移の有無を確認し、放射線照射野を決定しています。</p> <p>腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清の安全性と子宮頸癌治療前の診断方法としての有用性を検証するため、対象症例における手術合併症、手術成績、子宮頸癌の予後について後方視的に検討を行います。</p> <p>研究期間： 実施許可日～ 2030年3月31日</p>
研究に用いる試料・情報の種類	患者背景（年齢、身長、体重、BMI、既往歴、喫煙歴、術前血液検査など）、子宮頸癌情報、再発の有無、手術関連情報、放射線治療情報、化学療法情報など
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者：公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 産婦人科 主任部長 堀江 昭史 連絡先 電話番号 06-6312-1221 FAX 06-6361-0588</p>